

令和7年度 こども発達センターめばえ・みなみめばえ・きためばえ

めろん 職員評価表

公表：令和8年3月31日

国から示された「児童発達支援ガイドライン」に基づき、職員の自己評価を実施しました。

事業所における課題点及び改善すべき点を再度確認し、今後の事業所の運営に活かしていきます。

事業名 めろん

対象職員数 9人：回収数 9：回答率 100%

	チェック項目	はい	どちらか どちらか でもない	いいえ	わからない	改善目標、工夫していること
①	必要な場合、訪問支援に使用する教具教材は適切であるか	8	1	0	0	・振り返りをし、こどもの姿に合わせて教材教具を検討しています。 ・訪問施設に持参できる範囲での教材を用意しています。
②	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか	8	1	0	0	・訪問先施設の先生、園の先生のご協力を得て、こどもをきめ細やかにとらえる体制をとっています。
③	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	9	0	0	0	・毎回、支援後のカンファレンスで振り返りを丁寧に行うようにしています。
④	保護者向け評価表等を活用し、アンケート調査を実施して、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか ※年度末アンケートを保護者に実施（令和6年度より本評価表実施）	8	1	0	0	・保護者の皆様からの意見は可能な限り取り入れられるように職員間での話し合いをしています。
⑤	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページで公開しているか （R6年度よりホームページで毎日通園以外の事業も公開していく）	9	0	0	0	・ホームページにて公開しております。
⑥	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか ※第三者評価は未実施	0	0	6	3	・第三者評価は、権利擁護のみ実施しています。
⑦	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	0	0	・月1回の職員研修、及び外部研修への参加を通して、研鑽に努めています。
⑧	アセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	9	0	0	0	・アセスメントの面談、支援での姿、保護者とのお話、園訪問等から、こどもの姿を捉え、保護者の思いをお聞きし、それを総合的に分析して個別支援計画作成につなげております。
⑨	個別支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者	8	1	0	0	・個別支援計画作成に向けての面談には、園の職員の同席を可能な限りしていただき、その場で園職員の

	と連携し、訪問先施設の意向を尊重しているか					思いもつかない、園の意向も踏まえて計画作成をすることに努力しています。
⑩	こどもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	1	2	2	・現在使用しているアセスメントは、発達検査においては標準化されていますが、園独自で作成したアセスメント表は、標準化されているものと全く同じではないため、その信頼性を見直しながら、適切なアセスメントツールを使用していくことに努めています。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	9	0	0	0	・チームで話し合って立案しています。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	0	・目標達成につながる活動を、様々な観点から検討して、いろいろな経験ができるようプログラムを設定しています。
⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0	
⑭	支援開始前には訪問先で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	0	0	0	・療育に参加下さる園の先生との打ち合わせを開始前に行い、疑問点を解消し、役割分担をして支援をしています。
⑮	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	9	0	0	0	・支援終了後は参加された園の先生とも一緒に、支援の振り返りを行い、今後の関わり方等を見直しています。そして、園生活にも活かしていただけるようにしています。
⑯	毎回の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	0	0	0	・毎回の記録をし、丁寧に振り返り、次回につなげるようにしています。
⑰	訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容の共有を行っているか	9	0	0	0	・時間の関係上、支援後に伝えることが難しい場合も含め、支援の場に保護者に参加していただき、活動やこどもの姿を診てもらうことで共有することもあります。
⑱	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8	1	0	0	・最低限、前期後期の2回の面談を通して、個別支援計画の見直しを行っています。またその都度、訪問先施設の園の先生の意向を聞いたり、保護者の思いを聞くことは心がけています。
⑲	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に、そのこどもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	1	2	1	・現状、サービス担当者会議が全ての場合において開催されている状況ではありません。市町によってはセルフプランが主な地域もあります。会議は必要な場合は開催され、その際はこどもの状況に精通した者が参加しています。相談支援事業所とは、随時、連絡・連携をとっています。
⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	1	0	0	・必要に応じて行政担当課や関係者と連携しています。今後も丁寧な連携の必要が感じられるため、現状の在り方で良いかも丁寧に点検していきたいです。
㉑	小学校や特別支援学校（小学部）との間で、移行に向	7	0	0	2	・就学支援は、こどもの在籍園が中心になって実施しています。保護者と園と連携しサポートをしています。

	けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか					す。必要に応じて移行支援会議に参加したり、紙面での情報共有を行っています。
②②	他の児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	1	2	3	・他の児童発達支援センターの集う研修に参加したり、発達障害者支援センターの開催する研修を受講しています。ですが、全職員がそれにあたるわけではないため、機会として少なく感じられているかもしれません。これら研修の成果が、参加していない職員にも還元されるよう努力したいと思います。
②③	(自立支援)協議会の乳幼児部会等へ積極的に参加しているか(課長・所長参加)	7	0	1	1	・課長が参加し、重心部会や市町部会がある地域においては所長が参加しています。
②④	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	0	0	0	・伝え合うことは非常に大切で、保護者の様々な思いに応じて実施しています。
②⑤	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して学習会やペアレント・トレーニング等の支援を行っている	9	0	0	0	・ペアレント・プログラムの視点を大切にした研修の機会を作っています。シリーズとしては実施できていません。
②⑥	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	0	0	0	・利用前の見学時や利用契約時に実施しています。
②⑦	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	0	・支援後の保護者と話をする機会に、実施していません。この保護者支援は大切なことであることを、職員間でも繰り返し共有しています。
②⑧	座談会等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	1	0	0	・座談会は実施し保護者同士がつながる機会にしています。地域によっては、めろんの時間に保護者が待機する機会が減っているため、以前に比べるとつながる機会は減っている面もあります。つながれる工夫を考えていきたいです。
②⑨	こどもや保護者からの苦情に対して、対応する体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	1	0	0	・今年度、苦情は承らなかったですが、対応する体制は整備されています。利用契約時に、苦情・ご意見の受付については説明しており、その場合は迅速に対応していきます。
③⑩	保護者に対して、定期的に通信等情報を発信しているか	8	0	1	0	・ホームページで情報発信をしています。
③⑪	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	0	
③⑫	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	0	1	・こどもに分かりやすい伝達方法を、こどもによって模索しています。こどもの思いを聞き、その思いを尊重した関わりを大切にしています。
③⑬	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか	9	0	0	0	・こどもの担当が窓口となり、職員間で情報を共有し必要な対応を取っています。

③④	訪問支援の実施後に、訪問施設とのカンファレンスを行っているか	9	0	0	0	・支援後は、ともに参加下さった園の先生との情報共有の時間を必ず取るようにしています。
③⑤	訪問先の防災マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の非常時の対応について、情報を共有しているか	3	3	3	0	・訪問先の各マニュアルを共有させていただくことを必要事項としていますが、十分に行いきれませんでした。今後は、年度当初に実施していきます。
③⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	0	・虐待防止のための研修を全職員で受け、権利擁護委員会で、虐待や人権侵害にならないためのチェックやその対策を協議し実施しています。
③⑦	事前に、アレルギーやてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	9	0	0	0	・利用開始前にアレルギーやこどもの状況を教えていただき、必要な対応を確認しています。
③⑧	ヒヤリハットを毎月確認して、事業所内で共有しているか	9	0	0	0	・ヒヤリハットが起きた時は、早急にその原因と再発防止を検討し、対応や改善策を事業所内で共有しています。
③⑨	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	4	2	2	1	・今年度は、それにあたる対象児がいませんでした。今後、行う必要がある場合においては、組織的に決定することや保護者に事前に説明を得るなど、体制は整っています。